

令和5年度 豊中市総合計画審議会 第1回会議 議事要旨

【日 時】令和5年（2023年）7月3日（月）18時30分～20時00分

【場 所】第一庁舎4階第一会議室、ZoomによるWEB会議

【出席者】有川委員（オンライン）、大野委員、加藤委員、宗前委員（オンライン）、
久委員（オンライン）、吉村委員、森委員、石井委員、森山委員、八木委員

【欠席者】壬生委員

【事務局】藪床都市経営部長

都市経営部経営戦略課：森田、田中、高橋、島、麻田、大重

【傍 聴】2名

【案 件】1. 今年度のスケジュール及び部会について
2. 第4次豊中市総合計画後期基本計画行政評価指針（案）について
3. その他

【資 料】○ 次第

○ 【資料1】総合計画審議会に係る規則等について

○ 【資料2】豊中市総合計画審議会 令和5年度委員名簿

○ 【資料3】令和4年度総合計画審議会等のスケジュールについて

○ 【資料4】第4次総合計画後期基本計画行政評価指針（案）

○ 【資料5】第4次総合計画後期基本計画行政評価指針（案）の概要

○ 【資料6】後期基本計画の政策（施策）評価シート（案）

○ 【参考1】第4次総合計画前期基本計画行政評価指針

○ 【参考2】前期基本計画の施策・施策の方向性シート

○ 【参考3】第4次総合計画後期基本計画（本編）

【会議録】下記のとおり

■開会

■成立要件の確認

事務局

本審議会規則第7条第2項に基づき、会議の成立要件を満たしていることを確認。

傍聴者は2名。

■委員紹介、事務局紹介

■資料の確認

■案件 1. 「今年度のスケジュールおよび部会について」

事務局

(資料 3 「令和 4 年度総合計画審議会等のスケジュールについて」 および部会について説明)

■案件 2. 「後期基本計画行政評価指針（案）について」

会長

それでは案件 2 に移りたいと思います。案件 2 について事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料 4 「第 4 次総合計画後期基本計画行政評価指針(案)」、資料 5 「第 4 次総合計画後期基本計画行政評価指針(案)の概要」、資料 6 「後期基本計画の政策（施策）評価シート（案）」について説明)

会長

資料 6 「後期基本計画の政策（施策）評価シート（案）」に「【参考】後期基本計画の政策（施策）評価シート（案）の進捗評価について」が記載されていますが、これは、資料 6 「後期基本計画の政策（施策）評価シート（案）」には含まれないという認識でよろしいでしょうか。

事務局

資料 6 「後期基本計画の政策（施策）評価シート（案）」の(6)、(7)の説明資料として、参考でお付けした資料になります。表題が異なる資料が同一資料にまとまっており、分かりにくくなっており失礼いたしました。

委員

ペーパーレス化が進んでいる中ではありますが、紙の資料を見られている方とデータの資料を見られている方の両委員がいらっしゃるため、事務局にも紙の資料をご用意いただき、説明する際には、お互いに説明箇所の共通認識を持てるようにしていただくといいと思います。

会長

それでは、案件についてご意見をいただきたいと思います。

委員

資料 6 「政策評価(施策)評価シート（案）」の「(8)関連する事務事業」についてです。政策評価、事務事業評価、予算管理事業は系統立てて繋がっていることがわかるのでしょうか。また、市役所の各業務は関連性があると思いますが、この標記の仕方で表現しきれるのででしょうか。

会長

約 1200 の予算管理事業とそれをまとめた約 300 の事務事業の間にツリーコードはあり、デジタル予算書にて確認できるようになると思います。我々第 3 者も評価シートを確認する際には、遡って見ることができます。

事務局

おっしゃるとおり、約 300 の事務事業の下に約 1200 の予算管理事業がぶら下がっており、今後、デジタル予算書にて、双方向に確認できるようにする予定です。

委員

理解できました。次に、資料 6「政策評価(施策)評価シート(案)」の(6)、(7)の評価の方法についてですが、事業は単独に進むものもあれば、パラレルに進むものなどがあると思いますが、事業を進めるうえで評価にばらつきがでるのではないのでしょうか。

会長

おっしゃる通りだと思いますが、ばらつきがある中でも、総合的に文章で記載した上で、評価を選択し、最終的には担当部長が総合評価という形で評価をすることになると思います。さらに、それを第 3 者がみて、アウトカムの評価が適切にできているか議論することになると思います。

委員

外的要因でやむを得ずできなかったようなことも評価の対象としてでてくるのでしょうか。

会長

そういったことも、評価の中で記載することになると思います。

委員

今のやり取りは根幹の部分になると認識しましたが、最終的なアウトカムとなる「令和 9 年度末に実現したい状態」は後期基本計画の第 1 章の 1 の場合「安心して子育てができていく」という状態になります。それぞれのアウトプットの積み重ねが最終的なアウトカムになるかという非常に複雑なメカニズムになっています。また、最終的なアウトカムが定量的に図れていないため、いかに客観性をもって評価するのかは、かなり難しいと思います。それぞれの事業が動いている中で、1 年間をとおして総合化された内容を評価シートにエビデンスとして書いてもらい、「安心して子育てができていく」状態になっているかを総合計画審議会で詰めていく部分にもなると思います。ディスカッションの中でお互いの評価軸は詰めていく必要があると思います。

委員

前期基本計画の政策(施策)評価シートでは ABC の 3 段階評価があり、評価の結果に目が行くフォーマットでした。それに比べて、今回の資料 6「後期基本計画の政策(施策)評価シート(案)」は評価度合が下がりました。もともと、評価シートの評価の結果ではなく、中身を重視する必要があったことから、その方が良いと思います。また、PDCA サイクルに基づき記載ができるよう誘導する項目立てになっており、これまでの審議会からの指摘も補完する形になっているので、進化したのではないかと思います。資料 6 の(6)、(7)は選択肢を選ぶようになっていますが、総合的に見て判断するというので、シートの中身にその根拠がわかるように書いていただくと良いと思い

ます。一方で、(8)は関連する事務事業が並び、デジタル予算書で紐づけされるとのことでした。これだけのスペースをとっていますが、これを記載することによって、施策と事務事業のつながりがわかるということが大事なのでしょうか。どちらかという、連携して対応する課題や取組みを書くのであれば意味があると思います。事務事業名・部局名を羅列するにはどんな意味があるのでしょうか。

事務局

これまでは政策評価と事務事業評価の関連を示すことはなかったもので、政策評価上で何らかのかたちで関連を示したいと考えています。資料 6 の(8)はデジタル予算書上でこのシートを確認することで、関連する事務事業評価を閲覧できるようにしたいと思います。また事務事業に紐づいている予算管理事業も同様にクリックすると飛べるようにすることで、ツリーをたどって閲覧できるような仕組みにしたいと考えています。システム開発はこれからですので、ご意見ふまえてレイアウトは検討します。

委員

そういった仕組みであれば、これは意味のあるものになると理解できました。

委員

後期基本計画の中では人口増減について触れられていません。例えば後期基本計画の第 1 章の 1 の場合、「令和 9 年度末に実現したい状態」は「安心して子育てができている」状態となっていますが、人口増減の問題にも触れることで、政策評価の評価基準が明確になるのではないのでしょうか。

会長

人口については、人口ビジョンを策定しています。これは政策評価の対象とはしていません。総合計画においては、様々な施策を進める上での参考値のようなものになると思います。

委員

人口増減は問題ではありますが、総合計画は、地域や暮らし、行政サービス等を整えていくことであり、それを実現するために PDCA を回すことにより理想に近づけていくことが審議会の役割になると考えます。

委員

実際に子育てをする中で、「安心して子育てが出来ている」かどうかは非常に重要なポイントでした。人口増減を目標にすると、女性が子どもを生むか否かの議論に偏りがちですが、今子育てをしている人が安心して子育てをできているかどうか、そのために何をすべきかを図っていくことがこの評価シートの役割であると考え、人口増減の議論については重要ではありますが、この審議会の役割ではないと考えます。

委員

資料6の(1)は『「令和9年度末に実現したい状態」に向けて効果のあった取組み』となっておりますが、PDCAサイクルを回すにあたって、記載される取組みはどの程度の中小度合、具体性、網羅性をなすのでしょうか。

また、資料6の(5)『「令和9年度末に実現したい状態」に向けての今後の取組み』に記載された内容は次年度以降どのように反映されるのでしょうか。年度をまたいでPDCAサイクルが回っていることは把握できるのでしょうか。

事務局

基本的には、資料6の(5)に記載した内容を、翌年度以降のシートにどのように取組まれたのか記載します。それが効果のあった取組みになるのか、課題が残り、何らかの手を打つ必要がある取組みになるのかなどはありますが、翌年度以降の政策(施策)評価シートに記載する予定です。

会長

これで案件2についての議論は終了といたします。

■案件3. その他

事務局

(連絡事項「今後の日程について」説明)

会長

すべて終了いたしましたので、これをもちまして「第1回豊中市総合計画審議会」を閉会したいと思います。ありがとうございました。

(以上)